答え 1月19日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



家庭消火器点検の日にちなんで「火の用心クイズ」

【第1問】火事や救急は119番。では、いちばん最初の番号は何番だったでしょう？

① 110番　② 112番　③ 117番

大正15年に始まったときは112番でした。ところが、ダイヤルを回す電話ではかけまちがいが多く、翌年に119番に変わりました。9はダイヤルを回す距離が長く、落ち着いてかけられるといわれます。

【第2問】コンセントのまわりで、火事の原因になりやすいのはどれでしょう？

① 日なた　② ぬれたタオル　③ たまったほこり

コンセントとプラグのすき間にたまったほこりが湿気を吸い、そこに電気が流れて火が出ることがあります（トラッキング現象）。冷蔵庫やテレビの裏など、見えないところを時々ふきましょう。

【第3問】家の火災警報器は、何年くらいを目安に取りかえるとよいでしょう？

① 約3年　② 約10年　③ 約30年

住宅用火災警報器は、取りつけてから10年をめやすに本体ごと取りかえるよう、すすめられています。ボタンを押したりひもを引いたりして、ときどき鳴るか確かめておくと安心です。

【第4問】家庭用の消火器から、粉やあわが出続ける時間は？

① 約15秒　② 約1分　③ 約5分

家庭用の消火器が出し続けられるのは、およそ10～15秒です。思ったよりずっと短いので、火元をよくねらって使うことが大切です。

【第5問】消火器を使うとき、まず最初にすることは？

① レバーをにぎる　② ホースを火に向ける　③ 黄色い安全ピンを抜く

まず黄色い安全ピンを抜き、ホースを火元に向けて、レバーを強くにぎります。「ピン・ホース・レバー」と声に出して覚えておきましょう。

【第6問】自分で火を消そうとしてよいのは、火がどこまでのときでしょう？

① 天井にとどく前まで　② 天井にとどいてからも　③ 部屋じゅうに広がっても

火が天井までとどいたら、自分で消すのはむずかしいといわれます。そうなったら、すぐに逃げて119番を。まずは大きな声で「火事だ！」とまわりに知らせることも大切です。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます